インバウンド集客＆自社販売のための最強予約システム

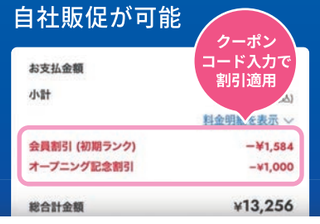
予約Pro X クロス

利用料金は安心の固定費

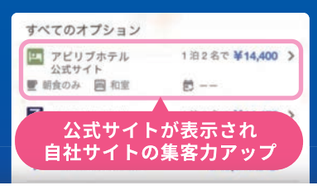
選ばれる理由01
会員価格表示・ポイント付与で自社顧客囲い込みを強化

<導入実績>
自社予約比率
14.5%アップ

選ばれる理由02
クーポン機能＆メルマガ機能で自社販促が可能



選ばれる理由03
Googleホテル検索と無料連携



ホテル・旅館を中心に、北海道から沖縄まで全国6,000サイト以上の実績！

abilive
URL .https://www.ab-net.co.jp/

お電話でのお問い合わせ 052-262-8041
メールでのお問い合わせ info@ab-net.co.jp

より詳しい情報やお問い合わせは、ホームページをご覧ください。
予約プロクロス

＜＜ 6・7面

最新技術で業務効率化―
観光DX特集

業務効率化や生産性向上の必要性が叫ばれる日本の観光業界。本特集では、すでに多くの導入実績を持ち、確かな信頼を築いた５社による最新のサービスを紹介する。

シーナッツ 特集

予約・販売管理システム

サポートページでセミナー実施

シーナッツの予約・販売管理システム「TL―リンカーン」は、旅行会社とOTAからの通知を一元管理し、残室・料金調整ができるもの。導入施設数は6100で、対応販売先は旅行会社、OTAを併せて191社となっている。

システムは常にバージョンアップを図っており、最近では、新機能「Global Connect Hub」をリリースした。この機能を使えば、TL―リンカーンで作成した宿泊施設におけるプラン情報を直接、グローバル展開するOTAへ登録、更新が可能となる。

作成された情報はTL―リンカーンが自動で取り込む。残室、料金調整を行うだけで販売が開始され、複数の販売先を管理する手間を大幅に削減する。まずは、「東南アジアのマーケット」。トラベロカは東南アジア最大級の旅行プラットフォーム。航空券やホテルだけでなく、現地アクティビティや送迎までを網羅している。直感的な操作性と、アプリ限定の格安セールや割引クーポンが最大の特徴という。

今、シーナッツが力を入れているのがほぼ毎月開催のサポートページから誰でも聴講できるオンラインセミナーだ。同社では、宿泊施設の利益拡大、業務効率化に寄与するセミナーと位置付けている。

5月28日に開催するセミナーは、令和トラベルの受田宏基氏を講師に招く。テーマは、「宿泊施設におけるAIの活用」。同社は、宿泊予約システム「Relux」を創業した篠塚孝哉氏が創業したデジタルトラベルエージェンシー。運営する旅行予約アプリ「NEWT（ニュート）」は、スマートフォン一つで予約受付から顧客管理までを完結できる手軽さが売りだ。

6月11日にはトラベロカの河嶌氏を招き、セミナー開催を予定する。テーマは、「東南アジアのマーケット」。トラベロカは東南アジア最大級の旅行プラットフォーム。航空券やホテルの予約だけでなく、現地アクティビティや送迎までを網羅している。直感的な操作性と、アプリ限定の格安セールや割引クーポンが最大の特徴という。

TL-リンカーン

準備しておこう、
チャンスはいつか
訪れるものだ。

これはリンカーン
大統領の言葉です。
お客さまに最高の
満足を提供するために、
その準備として予約管理に
かかっていた手間を減らし、
プラン造成やおもてなしに労力を費やす。
それを可能にするのが、TL―リンカーン。
宿泊施設さまに、煩雑な予約業務からの解放を！

宿泊施設の、宿泊施設による、
宿泊施設のための予約管理システム
TL-リンカーン

シーナッツ で 検索 https://www.seanuts.co.jp
株式会社シーナッツ 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目12−7 住友不動産田町ビル4階
TEL:03-4361-1764(代) FAX:03-6772-1002

JR・航空各社のGW輸送実績

長期連休で需要好調

JR6社 一部で自然災害影響も 各社横ばい以上を堅持

JR各社は7日、今年のゴールデンウイーク（GW、4月24日～5月6日）における利用実績を公表した。自然災害の影響などにより北海道の一部路線で利用者の減少があったが、多くは前年実績から微増する傾向が目立った。曜日配列が長期連休を取得しやすい形になったことも追い風となった。

■JR北海道

4月27日に発生した十勝地方南部を震源とする地震の影響で、在来線特急14本、快速エアポート55本が運休となる事象が発生。主要4線区（北海道新幹線、東室蘭―苫小牧、札幌―岩見沢、南千歳―トマム）における利用者数は、前年比5%減の25万人だった。

在来線特急単体で見ると、同10%減の16万6千人。特に札幌―岩見沢間は同19%減の6万6千人と大幅に減少した。ただ、北海道新幹線（新青森―新函館北斗）は同7%増の8万4千人だった。

駅利用では、札幌駅が前年比1%減の175万5千人とほぼ前年並みだったのに対し、新千歳空港駅は同9%増の51万9千人となった。

ピーク日は、新幹線は新函館北斗駅着が5月2日、同駅発が5月5日。在来線は、札幌駅発が5月2日、札幌駅着が5月6日だった。

■JR東日本

各新幹線・在来線特急の利用者数は、前年比15%増の515万6千人。一部の線区で大雨や強風による輸送障害が発生するも、前年を上回った。

ピーク日は、下りが5月2日で32万9千人、上りは5月6日で31万3千人だった。

駅利用では、新宿駅が前年比1%増の436万9千人、東京駅が同5%増の256万人、舞浜駅は同7%増の60万9千人。成田空港駅・空港第2ビル駅は、同10%増の8万4千人だった。

■JR西日本

各新幹線・在来線特急を合わせた利用者数は、前年比5%増の325万人だった。

山陽新幹線は、同7%増の202万6千人、北陸新幹線も同8%増の44万9千人と前年を上回った。中でも新大阪―西明石間の「のぞみ」は同10%増の151万6千人、上越妙高―糸魚川間の「はくたか」は同12%増の16万7千人と好調に推移した。

一方の在来線特急は、前年比1%減の77万6千人と前年横ばいだった。

ピーク日は、下りが5月2日で21万3千人、上りは5月5日で20万9千人だった。

■JR四国

瀬戸大橋線の利用者数は、前年比1%減の30万9千人だった。一方、主要3線区計（予讃線、土讃線、高徳線）は、同1%増の13万4千人と前年を上回り、利用者の多い本州四国間の微減が全体に影響した。

瀬戸大橋線におけるピーク日は、下りが5月2日で1万9700人（前年比13%増）、上りは5月5日で2万300人（同7%増）だった。

■JR九州

各新幹線・在来線特急を合わせた利用者数は、前年比5%増の85万6千人だった。

九州新幹線は、博多―熊本間が同5%増の42万8千人、熊本―鹿児島中央間は同8%増の21万2千人だった。西九州新幹線（武雄温泉―長崎）も、同6%増の11万人と好調に推移した。

在来線特急では、長崎本線（鳥栖―江北）が前年比4%増の26万3千人、日豊本線（小倉―行橋）が同4%増の16万5千人だった。

■JR東海

東海道新幹線・在来線特急を合わせた利用者数は、前年比4%増の2493万2千人、在来線特急は同2%減の18万7千人。

在来線の定期外乗車人員は、名古屋近郊が前年比6%増の373万人、静岡近郊は同3%増の133万9千人で、生活路線でも旅行需要の高まりが見られた。

ピーク日は、新幹線は下りが5月2日で29万7千人、上りが5月6日で31万1千人。在来線は、下りが5月2日で1万2千人、上りが5月5日で1万2千人だった。

■JR西日本

各新幹線・在来線特急を合わせた利用者数は、前年比5%増の325万人だった。

山陽新幹線は、同7%増の202万6千人、北陸新幹線も同8%増の44万9千人と前年を上回った。中でも新大阪―西明石間の「のぞみ」は同10%増の151万6千人、上越妙高―糸魚川間の「はくたか」は同12%増の16万7千人と好調に推移した。

一方の在来線特急は、前年比1%減の77万6千人と前年横ばいだった。

ピーク日は、下りが5月2日で21万3千人、上りは5月5日で20万9千人だった。

■JR四国

瀬戸大橋線の利用者数は、前年比1%減の30万9千人だった。一方、主要3線区計（予讃線、土讃線、高徳線）は、同1%増の13万4千人と前年を上回り、利用者の多い本州四国間の微減が全体に影響した。

瀬戸大橋線におけるピーク日は、下りが5月2日で1万9700人（前年比13%増）、上りは5月5日で2万300人（同7%増）だった。

■JR九州

各新幹線・在来線特急を合わせた利用者数は、前年比5%増の85万6千人だった。

九州新幹線は、博多―熊本間が同5%増の42万8千人、熊本―鹿児島中央間は同8%増の21万2千人だった。西九州新幹線（武雄温泉―長崎）も、同6%増の11万人と好調に推移した。

在来線特急では、長崎本線（鳥栖―江北）が前年比4%増の26万3千人、日豊本線（小倉―行橋）が同4%増の16万5千人だった。

航空2社

国内線は前年超え

ANAグループとJALグループは7日、ゴールデンウイーク（GW、4月29日～5月6日）期間の国内線利用実績をそれぞれ発表した。両社とも旅客数、搭乗率ともに前年を上回った。

ANAの旅客数は前年同期比12・4%増の11万6564人、搭乗率は同8・6ポイント増の84・3%だった。方面別では、北海道、中国・四国方面が前年比約1・2倍と人気を集めた。

JALの旅客数は同7・5%増の85万8821人。搭乗率は同6・1ポイント増の84・6%となり、コロナ後過去最高を更新した。方面別では関西方面を除く全エリアで前年の旅客数を上回った。

カスハラ対応で周知動画を制作 JAL

日本航空（JAL）はこのほど、国内航空各社で構成する定期航空協会（会長＝鳥取三津子JAL社長）の協力のもと、カスタマーハラスメント（カスハラ）対応に関する周知動画を制作した。10月に施行が予定されている労働施策総合推進法等の一部改正を控え、順次空港および機内で活用する。

動画は業務に支障を及ぼす行為や暴言、SNSでの誹謗中傷など、カスハラに該当する可能性のある9項目をイラスト付きで分かりやすく示した。すでに羽田、成田、新千歳、伊丹、福岡、沖縄の各空港で放映しており、6月1日からは同社国内線・国際線の機内でも順次放映する。

「全てのお客さまに安全・安心な空の旅を提供できるよう、カスハラについては引き続き毅然と対応していく」と同社。

近畿日本ツーリスト

AI研修サービス開始

旅行会社で初、自治体・企業向けに

近畿日本ツーリスト（永嶋安基社長）はこのほど、旅行会社として初となるAI研修サービス「AI研修 リスキリングサポート 実践スキル習得プラン」の提供を開始した。AIを使える人材の育成だけでなく、AIで成果を出せる組織づくりに特化した内容で、教育機関や企業・自治体などを対象に提供。組織ごとの多様な教育ニーズに対応し、リスキリングを後押しする。

同サービスは、AI教育・研修を専門とするAISEE CONNECTとの連携で実現。講義と演習を組み合わせた実践型研修となっている。

研修は3日間で1日4時間ずつ受講する（全12時間）。生成AI基礎知識の習得、各種AI生成ツールの比較・使い分けといった基礎講座から、業務シーン別活用スキルの習得、カスタムAIの構築などの実践講座を経て、AIを導入した業務自動化などの演習を行う。終盤には情報セキュリティ基礎やAIに関する著作権、情報倫理の講座も盛り込まれている。

メイン講師は、近畿日本ツーリストに所属するIT整備士協会認定のAI講師「リード講師」が担当する。リード講師は営業から研修までワンストップで対応し、多種多様な業界・規模に豊富な研修実績を持つ講師として、準備から実践まで一貫してサポートする。

対象は学校などの教育機関に加え、自治体、企業、労働組合など。組織が抱える課題や目標に応じて研修内容をオーダーメイドして提供する。企業向けにはAIツールの導入研修や業務効率化研修などで、自治体向けには住民向けAI体験講座や職員のDX推進などに活用できるとしている。

受講料は1人当たり22万円（税込み）。政府によるリスキリング支援策「人材開発支援助成金」に対応しており、費用助成と賃金助成を利用することで、実質1人当たり最低約3万8千円で受講できる。

業績予想を修正 中東情勢影響で KNT-CTHD

KNT-CTホールディングスは8日、2026年3月期決算（25年4月1日～26年3月31日）について、業績予想を修正した。当期および今後の連結業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の追加計上を決定。法人税等調整額として25億円を利益計上する見込み。親会社株主に帰属する当期純利益は、当初予想から42・6%増の97億円とした。

修正後の業績予想は、中東情勢に伴うツアー中止などの影響で、売上高は当初予想から9億円減の2971億円（0・3%減）、営業利益は同4億円減の61億円（6・2%減）に下方修正。一方、経常利益は同3億円増の76億円に帰属する当期純利益は同29億円増の97億円（42・6%増）に上方修正。1株当たり当期純利益は、321・22円を見込む。

熊本DCの開幕特別列車 日本旅行が乗車ツアー催行

日本旅行は7月4日、熊本デスティネーションキャンペーン（DC、7～9月）のオープニングに走行する団体貸し切り列車に乗車する特別ツアーを催行する。

貸し切り列車は新大阪駅から熊本駅までの「熊本DCオープニング記念号」。熊本県の人気キャラクター「くまモン」が乗車するほか、熊本県の「お土産セット」の配布や、同県の特産品が当たる抽選会を行う。

熊本駅では地元の人々による歓迎の出迎えや、オープニングイベントを実施。山鹿灯籠踊りなどのステージイベント、地元食材を扱う店舗によるグルメブースの出店、ブースを回遊するスタンプラリーなど、さまざまな企画を用意している。

ツアーは7月4日出発限定の1泊2日。同県の名所を巡る添乗員同行プランや個人型フリープランのほか、鉄道ファン向け商品も現在計画している。

2市と災害時協定 阪急交通「DHAT」提供

阪急交通社（山川豊治社長）は、4月28日に北海道千歳市、今月8日に神奈川県鎌倉市と、災害時における連携協定を締結した。

■北海道千歳市

市域内で地震などの災害が発生した際や発生の恐れがある場合に、市からの要請に応じて迅速かつ円滑な災害対応を行い、復興につなげる。2024年に同社が発足させた、災害時に自治体を緊急で支援するDHAT（Disaster Hankyu Assistance Team）の活動を提供する。

協定内容は、①指定避難所および福祉避難所等の開設・運営②宿泊施設や移動車両等の手配③人員、物品および資器材等の手配④緊急コールセンター⑤災害ボランティアセンターの開設・運営に必要な人員・資器材等の手配⑥その他協議により必要と認められる事項―の6項目。

■神奈川県鎌倉市

市域内で地震や風水害などによる大規模災害、その他の緊急事態（感染症対策などを含む）が発生した際やその恐れがある場合に、地域住民の生活の安定を図る。市からの要請に応じ、相互の強力な連携体制のもと、迅速かつ円滑な災害対応を行い、支援活動としてDHATを提供する。

協定内容は、①被災対象者および市に派遣される応援職員の必要とする宿泊先、交通（車両等含む）、食事並びに保険等の手配②福祉避難所等の開設・運営③各種支援のための人材・資機材等の手配④感染症等の防疫業務補助⑤その他事項―の5項目。

より良いシステムの開発とお客様サポート体制の更なる向上に努め旅館・ホテル様のよきパートナーとしてお役に立ちたいと思います

信頼と実績を踏まえ最新のテクノロジーを搭載!

最大の特徴は　多様なニーズに対応できる柔軟性

◎データ連動性　・予約管理からフロント会計、売上管理そして顧客管理まで一元管理し、お客様の「入口」から「出口」そしてまた「入口」へとリピートサイクルの確立を支援します。

◎拡張性　・様々な連動オプションシステムを準備
CTI、厨房インフォメーション、売掛管理、タブレットチェックイン、セルフオーダリングシステムルームインジケーター、サイトコントローラ (2Way)、自動精算機、自動釣銭機、POS システム スマートキー、財務会計システム連動、etc

◎柔軟性　・クラウド型(サービス提供型)・オンプレミス型いずれの形式でもご提供可能です。
・オンプレミス型～ クラウド型でもカスタマイズ・オリジナル帳票作成等 柔軟な対応が可能です。
・ご希望の外部システムとの連携など柔軟に対応致します。

旅館ホテルトータルソリューション MACRA ～マクラ～

MACRA
Management Assist of Customer・Reservation・Account

姉妹システム
充実したシステム内容で操作は簡単、価格は安く!
コンパクトなシステム
フロントシステム スマート
プレチェックイン　フロント会計　顧客管理

充実のシステム内容、驚きの価格
ビジネスホテル専用システム
フロントシステムBIZ

新日本コンピュータサービス株式会社
〒321-0946 宇都宮市東峰 1-12-21
TEL.028-660-1160㈹ FAX.028-660-1161
URL http://www.njcs.co.jp/
東京オフィス
〒162-0845 新宿区市谷本村町 3-19 千代田ビル704
TEL.03-6457-5407 FAX.03-6457-5408

アビリブ

予約システム

初のLP生成機能リリース

全国約2千の宿泊施設が採用しているアビリブ提供の予約システム「abi-Booking 予約プロクロス」。自社予約数を上げるため使いやすさにこだわり、かつ、リピート率向上を図るために設計されたシステムだ。「自社予約が15%前後改善した例も顕著にある。宿泊施設の利益率を劇的に改善している。他社の予約システムからの乗り換えも多い」と同社。固定費のみの分かりやすい価格設定で、予約に対する従量課金がないことも評価されている。

予約者を囲い込む会員価格表示が可能。会員の差別化を図ることで自社予約数を増やしながら会員を囲い込む。また、Google提供の「Free Booking Link」の掲載パートナーに公式認定されているため、Google ホテル検索と無償で連携できる。多言語自動翻訳機能は、簡単に多言語プランを販売できる。カート機能は、複数の異なるプランをカートに入れて、まとめて予約できる利便性が売りだ。

最近では、LP(ランディングページ)生成機能をリリースした。特別プランの訴求に最適で、予約率アップをサポートするほか、中華圏で圧倒的なシェアを持つアリペイ決済に、宿泊予約システムとして初対応した。

プラン表示のデザインや、ダークモードの切り替えは、予約段階で簡単にできる。予約者に最適な見せ方を提供できる。ウィジェット機能を利用することで、単なる予約ページにとどまらず、公式サイトを回遊させながら予約させることが可能だ。

サポート体制も万全だ。電話サポートにも対応しており、システムの使用方法はコールセンターが丁寧に対応する。

同社では、「獲得した会員をリピートに促すための機能が充実している。チェックアウト後に次回利用のクーポンを自動配信、OTA経由のお客さまを自社予約に促す配信などが好評」と話す。

abi-Booking powered by 予約ProX

「abi-Booking 予約プロクロス」のロゴ

新日本コンピュータサービス

旅館・ホテルシステム

スタッフ、顧客の労力を軽減

京都市下京区の「京の宿 北海館お花坊」は、新日本コンピュータサービスの旅館・ホテルシステム「MACRA」のクラウド版を導入。スタッフ、顧客双方の労力軽減に成果を上げている。

大正4年創業、木造3階建ての純和風旅館。JR京都駅から徒歩7分と好アクセスを誇るが、目の前が東本願寺という立地から、喧騒を感じない閑静な雰囲気。「木造旅館のあたたかさを感じていただける旅館です」と同館若女将の小西業友さん。

旬の素材を生かした京料理、ひのきの香り漂う浴場に加え、もてなしへの評価が高い。「世話好きなスタッフによるアットホームな雰囲気が受けて、おかげさまで口コミで高い評価を頂いています。『京都にある第2の家』のようにお使いいただいています」(小西さん)。

旅館・ホテルシステムは従来、他のメーカーの製品を使っていたが、「予約が入っても部屋の割り振りを手作業で行う必要があったり、部屋割りは手書きで作る必要があるなど毎日大変な作業を強いられていました」(同)。

一昨年、コンサルタントの勧めもあり、展示会で新日本コンピュータサービスのシステムを視察。良さを体感し、導入を決断した。

MACRAでは、前出の問題解決を図ったほか、今年3月に実施された宿泊税の変更に際しても、施設側の手間をかけずに自動で対応。

顧客の手間を軽減する「タブレットチェックインシステム」も導入した。顧客が予約時、サイトに入力した住所などのデータがシステムにひも付けされ、チェックインは顧客がタブレットにサインをするだけで完了。再度住所を書き込むなどの労力が不要となった。施設側にとっても台帳がペーパーレス化され、印刷コストや保管にかかる労力が大幅に軽減されるなどのメリットが生じている。

「MACRA」を導入した「京の宿　北海館お花坊」

特集

タップホスピタリティラボ沖縄

ホテルシステム(PMS)

沖縄でロボットなど実証実験

ホテル・旅館専門の総合エンジニアリング会社のタップは、宿泊・観光産業に特化した世界初の実証実験施設「タップホスピタリティラボ沖縄(=THL)」を2023年6月、沖縄県うるま市に開設した。タップホスピタリティサービス・アクセシビリティプロジェクトの主幹技師として、例えば段差の解消など、ロボットが働きやすい環境整備を進めることで、人にも優しいユニバーサルデザイン(UD)を実現するプロジェクトを推進。東京五輪では同社のパラリンピック統括部主幹も務めた。

「ロボット技術とユニバーサルデザインの考え方は相似しています。ロボット活用は生産性向上だけでなく、障害者や高齢者にも優しい宿泊施設、社会をつくることにもつながるのです」と同氏は強調する。

またTHLでは、生体認証技術である「顔認証」を導入。宿泊のチェックインや部屋の入室、無人コンビニの決済にも活用している。「タップのPMS(ホテルシステム)は、予約、認証、決済などの全てを接続、統合管理することができます。ルームサービスロボットやリネン運搬ロボットなどもPMSとリンクさせることで、効率的に運用することができるように実証実験を重ねています」(同氏)。

黒川氏

アイディディ・ソフトウェア

リテール業務支援システム

遠隔実証で動作確認、安心導入

アイディディ・ソフトウェアが開発・販売を行う「アイディディ・トラベルワーカー」は、旅行業界初のグーグルのクラウドサービスを利用したリテール業務支援システムだ。

クラウドサービスを利用することで初期費用と月額保守料が不要。月額アカウント料5500円で使え、驚異的な低料金を実現。全国約320社で稼働している。

システム導入の際は、「自社にマッチするか」「使いこなせるか」など不安がつきものだが、遠隔リモートデモにより実際の画面を自分のPCで確認できるため、安心して導入できる。クラウドなのでインターネット環境さえあればどこでも使え、テレワークでの活用も心配ない。

発売以来、バージョンアップや新機能の開発を重ね自社商品のネット販売が簡単にできる「WEB連動募集型企画旅行システム」や訪日外国人旅行者向けの「インバウンドツアー予約システム」「法人セールス支援システム」をオプションとして追加。ユーザーから好評を得ている。

WEB連動募集型企画旅行システムは、基幹システムと完全連動し商品のWEBページ自動生成から予約・販売・精算業務までを完結できる。

また「法人セールス支援システム」は日程表・見積書作成から受注処理(基幹システムの予約カルテ自動生成)まで、セールス案件をトータル的に管理する営業マン支援システムとなっている。

「ネット環境さえあれば稼働するクラウドのメリットを生かし、驚異的な低コストで旅行会社への支援を精力的に行っていきたい」と同社。

「アイディディ・トラベルワーカー」の画面

旅行業務支援システム トラベルワーカー

テレワークに最適
Googleのクラウドで稼働するので、ネット環境さえあればパソコン、スマホ、タブレットのいずれでもOK。

WEB連動 募集型企画旅行システム
自社商品のネット販売を強化。ホームページを自動生成し、トラベルワーカー (基幹システム)と完全連動。

法人セールス支援システム
セールス案件管理、日程表作成・見積書作成～受注処理(予約カルテ自動生成)まで団体セールス向けの新サービスです。

旅行会社の業務をトータル的にカバー
顧客管理　予約管理　販売管理　ToDo管理

驚異的な低コスト
導入費用 ¥0　保守費用 ¥0　月額利用料@ ¥5,500 税込のみ
※2アカウントから使用OK。利用拘束期間なし(1ケ月単位で増減可能)

導入実績 全国300社突破!

旅行業界初 Google(グーグル)の クラウドサービスを利用したリテール旅行業務支援システム

詳しい内容・資料請求はホームページまで
導入事例<お客様の声>をご覧ください。
www.idd-soft.co.jp 又は idd 検索

idd TRAVELworker アイディディ・トラベルワーカー

遠隔リモートデモンストレーション 無料 実施中
まずは、遠隔デモンストレーションで、実際の画面をご覧ください。
お使いのPCで貴社の業務内容に合わせ、ご都合のよい時間にデモをご覧いただけます。

idd SOFTWARE Co.
株式会社 アイディディ・ソフトウェア／セールス・サポートセンター
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 27 階 / info@idd-soft.co.jp

人材不足・生産性向上・顧客体験価値向上を DX で解決する

沖縄県うるま市 IT 津梁パーク内に開設
宿泊・観光産業に特化した日本初の実証実験施設

Tap Hospitality Lab Okinawa
タップホスピタリティラボ沖縄

施設詳細は公式ウェブサイトをご確認ください
https://www.thl.jp/

タップホスピタリティラボ沖縄（THL）　〒904-2234　沖縄県うるま市州崎 14-27